



安城市議会議員 石川つばさ通信 号外

市政レポート

少人数学級 コロナ渦で高まる拡充の声

コロナ渦で、少人数学級の拡充を求める声が高まっています。元々は、「きめ細かな指導ができる」、「個に寄り添った指導が充実する」、「子どもとのコミュニケーションが充実する」などの効果が期待されてきましたが、昨今では密を避けるという観点からも注目されています。国会でも拡充を求める質疑が行われたほか、各級の首長会からも国に対し装置を講ずるよう要望書が提出されました(詳細は8/11号の週刊新社会1面)。

安城市においても少人数学級は一定程度の実施がなされてきましたが、今日の情勢を鑑み、一層の拡充が求められます。9月定例会では少人数学級拡充を求める趣旨の請願の審議が見込まれており、時流に抗わない判断が求められます。

安城市で実施されている少人数学級

学年	規模	開始時期
小学校1年	30人程度	2003年
小学校2年	30人程度	2004年
小学校3年	35人以下	2011年
小学校4年	35人以下	2016年
中学校1年	35人以下	2005年

(出典：安城市の教育)

石川翼事務所 446-0072 安城市住吉町荒曾根 1-245 アワーズビル 2F 南
電話 0566-98-6932 メール ishikawa2011@aria.ocn.ne.jp
編集：石川つばさを支援する会